

# 2025年度 長谷エグループサステナビリティ行動計画

		★:中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」におけるKPIです			※社名表記のないものは[長谷エコーポレーション]の取り組みを指します				
4つの 取り組みテーマ	マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2025年度 長谷エグループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績	2025年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲	
<b>住んでいたい空間</b>  様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き活きと過ごす空間をつくっていきます。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進するとともに、さらなる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードにしています。	<b>持続可能な暮らしとまちづくり</b>	1	災害に強い暮らしとまちづくりに貢献している	① マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進 ・災害に強いマンション提案仕様(新築)ルネ物件採用100% ・災害対策技術開発件数(地震(免振・制振・耐震)・台風等) ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率100% ・防災3点セット採用件数 -WELL UP -かまどスツール -マンホールトイレ	100% 2件継続中 100%  45台 59台 111台	・「災害に強いマンション提案」継続展開 *事業主・管理組合向けの防災・減災提案 ・防災セット提案継続[細田工務店] *地震や災害などの非常時の生活品質に役立つ設備5点 ・震災対策BCP訓練にて、地図システムを活用した物件被災状況一次確認訓練を実施[長谷エグループ] -施工中・管理・賃貸物件、シルバー施設、モデルルーム、仲介店舗にて実施 ・応急危険度判定士や自治体での防災ボランティア登録継続	☆☆	長谷エグループ	
		2	保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している	① 住宅を核とした複合開発の推進	・取り組み件数	1件	・共創型レジデンス「コムレジ赤羽」事業推進中 -学生寮・シェア型企業寮・賃貸マンションの複合開発 ・各種複合開発案件計画推進中 -（仮称）鎌倉市梶原計画「HASEKO Well-Doing Smart City」着工 ※3つの「循環」をコンセプトとして掲げ、豊かさが「循環」する住まい価値を創造	☆☆	長谷エグループ
		3	地域の社会課題解決モデルを広く社会に提示している	① 地域活性化への貢献	・事業推進件数	7エリア	・北海道・東北・北信越・中四国・東日本・九州・沖縄エリアにて事業展開を継続 ・新たな工法による既存の石積擁壁の石材を再利用・組み直した「ブランシエラ南洲門前通り」を鹿児島県にて推進 [長谷工不動産] ・明日香村での主な取り組み -企業版ふるさと納税を2018年より実施 -「飛鳥ハーブファロン2026」を3月に開催(特別協賛) -賃貸農園「長谷工明日香コミュニティファーム」運営、イベント開催 -古民家等再活用事業第2弾となる「ブランシエラ 石舞台 テラス」オープン ・杉並区空家利用相談窓口事業者として出張相談会を継続開催[細田工務店]	☆☆	長谷エグループ
		4	新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	① 多様なライフスタイルに応える建物・サービスの提供	・生活提案型商品*運用件数 *UGOCLO・Be-Fit・U's Style・DELIBOX・楽々テーブルキッチン	5件	・京大大学と包括連携協働研究を開始(新たな都市の創造や地方再生などを見据えた協働) ・「Be-Fit」および間取り可変システム「UGOCLO」の採用促進継続 *分譲マンションの新しい間取り ・DELIBOX-SMARTを開発し、複数物件に実装 *宅配業者が伝票番号を解除キーとして荷物を届ける新型宅配ボックス ・オープンスタイルのシステムキッチン「楽々テーブルキッチン」を開発・採用[長谷エファニシング] ・コンセプト賃貸マンション:「PLAY」・「TRACK」の推進、「WORVE」の地方展開[長谷工不動産][長谷工不動産開発]	☆☆	長谷エグループ
				② 超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等	・高齢者施設・住宅・サービス事業化件数	0件	・ブランシエール(有料老人ホーム)45施設、ウェルミー(グループホーム)5施設運営中[長谷エシニアウエルデザイン] -ブランシエール藤沢にて緩和ケア事業を開始 ・介護現場におけるDX推進・実装および効果について取り纏め完了	☆	長谷エシニアウエルデザイン
				③ マンション再生事業の推進	・建替施工実績(累計)	47件(竣工済・2026/3末時点)	・マンション再生(建替え・長寿命化)の総合提案と事業推進を実施 -小川住宅、晋志野台11街区住宅、晋志野台三街区住宅(保留敷地)、若松2丁目住宅を着工 ・耐震化事業の推進(耐震診断・補強設計・補強工事他)[長谷エリフォーム] ・建替事業:4件推進中[長谷工不動産] ・リノベ再販の積極展開[総合地所・長谷エリアルエステート]	☆☆	長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム 長谷工不動産 長谷エリアルエステート
				④ 再開発事業の推進	・事業協力した再開発実績(累計)	21件(竣工済・2026/3末時点)	・再開発事業:16件取り組み推進中[長谷エコーポレーション] ・再開発事業:2件推進中[長谷工不動産]	☆☆	長谷エコーポレーション 長谷工不動産
			<b>製品(サービスの安全)</b>	5	安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している	① 品質の維持・向上	・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷エプレミアムアフターサービス採用戸数  ・細田工務店の35年保証システム導入戸数	0件 東:7,544戸(累計87,451戸) 西:3,243戸(累計34,555戸) 184戸	・品質マネジメントシステムの継続・推進[長谷エコーポレーション・長谷エリフォーム・不二建設] ・各種仕上げのチェックポイント・施工マニュアル等を作成し全社で共有(高品質と精度確保の為) ・「HASEKO/バリューアップ活動」にて施工品質の維持・向上を促進 *協力会社組織との連携活動 ・長期優良住宅の展開(「ルネテラス東林間」・「ルネ八王子タワー」)[総合地所] ・仲介物件において充実した保証サービスを提供し住宅の資産価値維持・向上に寄与[長谷エリアルエステート] ・6つの最高等級を取得した「グランネオ」シリーズを供給開始[細田工務店] ・「防犯配慮ドア」と「防犯配慮壁」に囲まれたセキュリティ空間「マモルバ」を開発[細田工務店] ・自社施工の注文住宅にて、初期保証期間30年を継続[細田工務店]
<b>技術開発</b>		6	新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	① DX具現化に向けた取り組み	・取り組み件数	28件	・DX推進委員会において各種WGを推進中	☆☆	長谷エグループ
				② ICTを活用したマンション・商品企画の推進	・LIM(暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続	継続	・ICTマンションサービス導入物件12件(2026年2月現在・実証導入終了物件を除く)[長谷エアネシス] -新築分譲マンションに実証初導入(ブランシエラ海老名)	☆☆	長谷エアネシス
		7	住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になっている	① マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用	・環境負荷低減技術開発件数 ・周辺環境配慮技術開発件数 【長谷エコーポレーション】 ・環境配慮設計採用率	9件継続中 0件完了  東:96.1% 西:98.7%	・H-BAコンクリート(環境配慮型コンクリート)の積極採用を推進 ・「サステナブランシエ本行徳」運用中 -国内初既存社宅を全面改修しCO2排出量実質ゼロを目指す賃貸マンション -スマートホームシステムを導入した未来住宅創造に向けた居住型実験住宅 -開放廊下照明の深夜減光システムを導入 -複数メーカーと協働し、居住型実験住宅棟を運用 -第23回 環境・設備デザイン賞、令和7年度 デマンドサイドマネジメント表彰で優秀賞を受賞 ・「環境配慮チェックシート」「CO2排出量算定シート」を活用、環境配慮設計を継続実施 ・長期優良住宅を建売住宅の標準仕様として継続採用[細田工務店]	☆☆	長谷エグループ
<b>コミュニティへの配慮と参画</b>	8	地域コミュニティ形成に貢献している	① 地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり	・長谷エコミュニティ管理物件でのイベント開催 (300戸以上総合管理物件にて年1回)	238件	・神戸市北鈴蘭台地域のエリアマネジメント組織(北鈴〇(まる)〇(まる)部)に継続参加 ・「あるフォーラム」の運用・導入促進:2025年度竣工ルネブランド全物件で採用 ・長谷エコミュニティが運営するコミュニティ形成支援サービス ・管理マンションにおけるイベント開催サポートを継続実施[長谷エコミュニティ] ・地域・コミュニティ分野関連団体への助成事業の実施[ハウジング&コミュニティ財団]	☆☆	長谷エ管理ホールディングスG 長谷エコーポレーション 長谷工不動産ホールディングスG ハウジング&コミュニティ財団	

# 2025年度 長谷エグループサステナビリティ行動計画

		★:中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」におけるKPIです			※社名表記のないものは[長谷エコーポレーション]の取り組みを指します					
4つの 取り組みテーマ	マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2025年度 長谷エグループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績	2025年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲		
働いていたい 場所	人的資本 (ダイバーシティ&イン クルージョン・人材育 成)	9 多様な個性・価値観を認め 合い、すべての社員がやり がいを持って、自分らしく活 躍できる環境が整っている	① 働きやすい環境づくり	・MOST活動の推進 *グループ全体で職場環境の改善を目指す活動 【長谷エコーポレーション】 ★4週8閉所実施率100%(2027年度)	計画通り実施  78.1%	・MOST活動の推進[長谷エグループ] *グループ全体で職場環境の改善を目指す活動 -『小さな変革の輪を拡げ、全ての社員に未来への活力を!』を今期のテーマとして ①好事例のグループ間連携強化②リフレッシュ機会の創出を推進 -休日取得推進・部門早帰りデーの定着、部門・会社ごとのMOST活動を推進、MOSTレポートによる周知啓蒙実施 -部長以下約8,800名を対象に「長谷エグループ エンゲージメント調査」を実施 -DXによる業務効率化の推進	☆☆	長谷エグループ		
			② 様々な職場での女性の登用 と活躍支援	★女性管理職比率 長谷エコーポレーション6%・連結12%以上(2030年 度) ・女性社員比率 長谷エコーポレーション20%・長谷エグループ35%以上 (2030年度) ・女性採用比率 長谷エコーポレーション30%・長谷エグループ(各社別に 設定) ・えるほし認定取得	長谷エコーポレーション5.2%・連結11.5% 長谷エコーポレーション17.4%・連結33. 0%  長谷エコーポレーション16.6%・連結34. 6% 長谷エコーポレーション、長谷エリフォーム、長 谷エシニアウエルデザインが認定取得	「長谷エグループ ダイバーシティ & インクルージョン推進方針」の継続運用 ・D&I推進室による取り組みを推進 -管理職者向けD&I研修、全社員向けeラーニングを実施 -「みんなで作る 働いていたい場所」を運営 *社員参加型の社内ポータルサイト ・各事業体による施策の実施 -建設部門および設計部門にて女性社員研修会継続実施[長谷エコーポレーション] -営業社員を対象としたキャリアプラン研修・管理職者を対象とした管理職者セミナーを開催[長谷エリアルエステート]	☆	長谷エグループ		
			③ 育児・介護関連の支援制度 の拡充と推進	・男性育児参加制度(育児休業・配偶者出産休暇)取得率 長谷エグループ1 00% ・男性育児休業取得率 長谷エグループ50% ・くのみん認定取得	97.2% 76.8% 長谷エコーポレーションと長谷エグループ5社 が認定取得	・D&I推進室による取り組みを推進 -管理職者向けD&I研修、全社員向けeラーニングを実施 -男性の育児休業取得推進 -「みんなで作る 働いていたい場所」において長谷エグループ社長による「イクボス宣言」を周知 ・長谷エコーポレーションと長谷エグループ5社(HFH・HFD・SGR・HSW・HRE)が認定取得 ・介護との両立に向け社内ポータルサイト「介護サポート」の運用や制度利用に関するヒアリング等を実施	☆	長谷エグループ		
			④ 障がい者と共に働く職場の 実現	・障がい者雇用率2.7%(2026年)	2.70%	・障がい者向けサテライトオフィス事業の拡大 更なる業務切出しのため「サテライトオフィス説明会」を実施[長谷エコーポレーション] ・農園事業(船橋・柏)への参画による職域拡大を継続実施[長谷エリンクス] ・社内向けに、農園で収穫された野菜の配布会(HASEKOマルシェ)を開催(25年6月・26年2月)[長谷エリンクス]	☆☆	長谷エグループ		
			⑤ シニア人材の活躍に向けた 支援	・60歳研修受講人数 ・定年再活用者数	157名 347名	・60歳到達社員に対して研修を実施(年1回) ・定年退職者を対象に、必要性に応じ有期雇用(契約・派遣)による再活用を実施 ・シニア層の活躍の場としてライフマネージャー(マンシジョン管理員)を採用 -2026年3月末時点で60歳以上、727名が活躍[長谷エ管理ホールディングス]	☆☆	長谷エグループ		
			⑥ 外国人社員が活躍できる職 場環境・インフラの整備と推 進	・体制整備	継続	・協力的組織「建栄会」所属企業の外国人従業員を対象とした 「外国人労働者座談会(グローバルワーカーズ・ミーティング)」を継続開催 ・長谷エコーポレーション建設現場内の表示(安全看板・分別表示等)について、全現場にて5か国語対応を継続実施 ・ハワイ・ベトナムでの海外事業において現地雇用を継続実施 ・ベトナムの介護特定技能生を継続採用[長谷エシニアウエルデザイン] ・グループ会社、および協力会社にて外国人技能実習生の継続雇用	☆☆	長谷エグループ		
		10 未来の住まいと暮らしに関 わる人材を育成する多種多 様な教育を実施している	① 自律的に成長・進化・挑戦し 続ける人材・組織づくり 経営幹部候補の計画的な輩 出 新たな戦略を実現する人材 育成	・CAP-10(上司対話)実施率100% ・経営者養成講座の受講人数 ・自己学習支援「長谷エビジネスカレッジ」受講率30%(2030年度) ・主要資格保有率100%(2030年度) ★DX推進人材比率20%以上(2030年度) ・英会話講座受講人数	100% 144名 算定中 85.0% 5.3% 183名	・各種教育・研修施策を計画通り実施 ・自律人材の輩出促進と多様なスキル保有を目的とした自己学習支援策「長谷エビジネスカレッジ」継続実施 ・DX推進人材育成に向け、グループ全社員対象のeラーニング「DXリテラシー入門～DX人材としての第一歩～」とDXスキル 診断による定量評価を実施 ・グループ各社にて、独自の教育施策(研修)を多数実施	☆	長谷エグループ		
				② 技術・スキルの継承	・長谷エグループ技術教育の受講人数 ・建設キャリアアップシステム登録率	457名 78%	・各事業体(営業・管理・施工・設計・技術・グループ各社)の実務教育を実施 ・「建設キャリアアップシステム」継続運用 *技能者の情報をICカードを通じて業界統一ルールでシステムに蓄積する仕組み ・先輩社員による若手社員への技術教育(TOSS、施工図演習等)継続実施	☆☆	長谷エグループ	
				11 住まいと暮らしについて、 子どもから大人まで広く学 べる場を提供している	① 外部とのコミュニケーション 強化	・長谷エマニションミュージアム来館者数	5,755名	・長谷エマニションミュージアムにて子ども向けワークショップを開催 ・建設作業所見学会受け入れ(インターンシップ等) ・「マニションづくりふれあいフェスタ(社員向け家族イベント)」継続開催:133名が参加 ・キッズニア東京に3種類の仕事を体験できる「マニション建設現場」パビリオンを出展	☆☆	長谷エグループ
					② イベント等による啓蒙	・イベント件数、参加人数	5件 1,307名	・第18回住まいのデザインコンペティション開催 ・「HASEKO 夏のリコチャレ2025～マニションまるわかりツアー～」を開催 ・長谷エマニションミュージアムにて「子供向けワークショップ」を開催 ・長谷エマニションミュージアムにて「マニション防災フェスタ2026」を開催 ・サステナプランシエ本行徳にて防災フェアを開催	☆☆	長谷エグループ
労働環境・安全衛生	① 労働環境の整備・安全衛生 管理体制の徹底	・中央安全衛生委員会の開催(年1回) 【長谷エコーポレーション】 ・死亡・重大事故災害ゼロ ・労働災害発生率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下	年1回開催  0件 0.15 0.01	・労働災害撲滅に向け「グループ安全衛生管理方針」「安全衛生管理計画」に基づく安全管理を徹底 ・IT機器を活用した熱中症対策を実施(長谷エコーポレーションの現場作業所にて) ・「全国建設業労働災害防止大会」にて、関西4案件が安全衛生表彰を受賞 ・「Brillia City 石神井公園 ATLAS」にて、建設業労働災害防止協会本部表彰 優良賞を受賞 ・「ブラウドシティ方南町」が、「新宿労働基準監督署 署長表彰」を受賞	☆☆	長谷エグループ				
		13 社員一人ひとりの、心身の 健康づくりを支援している	① 健康経営の実践	・グループ健康経営推進委員会の開催(年1回) ・健康経営優良法人の認定取得	年1回開催 ホワイト500認定取得	・グループ健康経営推進委員会を開催 ・「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定継続取得	☆☆	長谷エグループ		
			② 従業員の心身の健康増進	・健康診断受診率100% ★特定保健指導対象者比率15%以下(-2030年度) ・ストレスチェック受検率100%	100% 15.4% 99.4%	・従業員・家族の健康相談・感染情報報告体制の整備 ・従業員の健康増進施策「レッツエクサ!!!」に4,056名が参加[長谷エグループ] ・従業員の健康増進施策(運動習慣支援)「LIVERUN オンラインチーム対抗駅伝」10月に開催し642名が参加[長谷エグル プ]	☆	長谷エグループ		
		14 協力会社とともに安全で生 産性の高い職場を実現して いる	① 協力会社との連携を強化・ 継続推進 (バリューアップ活動の継続 実施)	・バリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催(年1回)	1回	・協力会社組織(建栄会・住優会・建翔会・輝翔会・親和会)活動(安全管理の徹底等)継続推進 -毎月の専門部会(13部会)実施の中で、緊密な情報共有を実施 ・「バリューアップ活動報告会(テーマ:DXによる進化を求め生産性向上、働き方改革を加速させ現場4週8閉所の実現を図る)」 を 開催(アーカイブ配信あり)し、協力会社組織を中心に約3,000名が参加 ・施工品質、施工効率向上を目的に各種勉強会を開催(外構工事勉強会他)	☆☆	長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム 長谷エ管理ホールディングスG 不二建設 細田工務店		
			② 協力会社との連携によるD X推進・施工自動化技術の 開発	・開発テーマ数	9件	・協力会社と密に連携を取り、業務効率化を主としたデジタル活用を積極推進 ・BIMとデータベースによる情報化生産・施工図など紙媒体以外でのデジタル情報伝達による生産システムを検証中 ・施工自動化技術開発件数(9件完了、6件継続中)	☆☆	長谷エグループ		
③ 協力会社におけるリスク対 策	・総会にて啓蒙活動を実施(年1回)		年1回開催	・年1回の総会だけでなく、通常の専門部会においても啓蒙活動を推進	☆☆	長谷エグループ				
15 業務効率化・生産性向上に つなげる先進技術活用を リードしている	① DX推進による労働生産性 向上	・業務改善施策件数	5件	・DX推進委員会において4つのWGを組成し推進体制を整備/オフィスにおけるDX活用推進 ・グループデータ連携基盤構想PJ「GRIP」推進 ・「GOKURAKU-DXプロジェクト」を継続推進中[長谷エライブネット] *生産性向上を目指した基幹システム刷新プロジェク ト ・労働生産性向上技術開発件数(1件完了、5件継続中) ・電子契約書導入推進中[長谷エアーベスト・長谷エリアルエステート] ・「ゲンパノメ」を開発 *危険予知をリコメント	☆☆	長谷エグループ				

# 2025年度 長谷エグループサステナビリティ行動計画

4つの取り組みテーマ		マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2025年度 長谷エグループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績	※社名表記のないものは[長谷エコーポレーション]の取り組みを指します	自己評価	対象範囲
<b>大切にしたい風景</b>  住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切にする現場・職場をつくっていきます。	<b>気候変動への対応</b>	16 全ての事業活動において、高いエネルギー効率と再生可能エネルギー活用率を実現	① 環境マネジメントシステムの継続的管理・改善 ② SBT目標達成に向けた削減取り組み ③ 設計・施工段階におけるCO2の削減 ④ 建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進 ⑤ 事業活動における再生可能エネルギーの積極活用 ⑥ ZEH事業の推進	・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ	0件	・環境マネジメントシステムの継続・推進[長谷エコーポレーション・長谷エリフォーム・不二建設]	☆☆	長谷エコーポレーション 長谷エリフォーム 不二建設	
				★【SBT目標(基準年度:2020年度)】 ・Scope1+Scope2:2030年度 ▲42% ・Scope2:2026年度 0 ・Scope3:2030年度 ▲13%	削減取り組みを推進中	・Scope1～3数値の算定を継続実施 ・上記スコア数値につき第三者認証を取得 ・H-BAコンクリート(環境配慮型コンクリート)の積極採用を推進 ・再生可能エネルギーの導入 ・ZEH-M事業の継続推進 ・明日香村ハーブマラソン2026にて、ゴミゼロ(紙コップ使用無し等)の取り組みを実施 ・自社ビルへ電気自動車を導入	☆☆	長谷エグループ	
				【長谷エコーポレーション(ISO14001環境目標)】 ★H-BAコンクリートの採用件数50%以上(ー2030年度) ・CO2削減率10%以上(設計) ・CO2排出量削減 発生原単位8.5t-CO2/億円以下(施工活動)	14.3% 東:28.4% 西:27.6% 東:7.26t-CO2/億円 西:6.86t-CO2/億円	・CO2削減技術開発件数(2件完了、7件継続中) ・建設作業所における使用電力100%再生可能エネルギー化継続推進 ・建設作業所におけるCO2削減の取り組み推進(26/4末時点) ー環境配慮型燃料を導入(GTL燃料:東京20現場 関西0現場、B5燃料:東京132現場 関西1現場) ー重機の電動化を促進中(電動フォークリフト:東京39現場 関西3現場) ー「廃食油活用システム」の運用 *長谷エシニアアエルデザインの運営する高齢者向け施設の厨房および長谷エグループ管理マンションで排出される廃食油を活用し、バイオディーゼル燃料を生成する仕組み ・「竹チップ製造工場」を千葉県成田市で着工 ・明日香村で伐採した竹をチップに加工し、マンション建設現場で再利用する取り組みを開始 ・設計段階において、電気自動車充電設備の積極提案を実施	☆☆	長谷エグループ	
				【長谷エコーポレーション(ISO14001拠点)】 ・電力使用量前年度実績値以下	前年度比▲1.2%(26年2末時点)	・建設作業所での身近な節電活動事例啓蒙 ・全社での省エネ活動の実施 ー夏季・冬季節電強化月間を設定、昼休み時間中の消灯実施	☆☆	長谷エグループ	
				・作業所導入率100% ※非化石証書購入分含む ★再生可能エネルギーの導入(グループ会社・オフィス等含む)100%(ー2026年度)	100% 72.1%	・長谷エコーポレーションの建設現場の使用電力100%再生可能エネルギー化継続(2023年5月以降) ・自社ビル・一棟借りビルのオフィス使用電力100%再生可能エネルギー化(2025年4月達成)	☆☆	長谷エグループ	
				★ZEH-M対応 グループ開発物件100%(毎年度) グループ施工物件100%(ー2030年度)	87.5% 92.2%	・住宅のゼロ・エネルギー化に向けZEH事業を積極展開 ー長谷エ不動産・総合地所が「ZEHデベロッパー」、細田工務店が「ZEHビルダー」に登録継続 ー自社開発マンション(分譲マンション・自社保有賃貸マンション)のZEH-M Oriented標準化【長谷エ不動産・総合地所】 ー自社開発賃貸マンション「Live Casa(ライブカーサ)」のZEH-M Oriented標準化推進【長谷エライブネット】	☆☆	長谷エグループ	
	<b>生物多様性への配慮</b>	17 集合住宅における木材活用において先進的な取り組みを推進している	① 集合住宅への木材活用	・建物主要構造部における木造採用件数(前年度以上)	1件	・木造採用物件1件竣工:プランシエスタ新丸子リバーフロント(上層3層ロフト住戸の構造を木造化) ・木質化実現に向けた研究・技術開発:7件完了 7件継続中 ・「HSウッド(長谷エサステナブルウッド)」自社工場建設に着手 ・「住まいの木造木質化における建築物木材利用促進協定」を農林水産省と締結	☆☆	長谷エグループ	
				・外部表彰受賞件数 【長谷エコーポレーション(ISO14001環境目標)】 ・混合廃棄物3.4Kg/m2以下 ・混合廃棄物のリサイクル率85%以上 ・コピー用紙使用量前年度実績値以下 ・コピー用紙使用量前年度実績値以下	東:1.2Kg/m2 西:2.4Kg/m2 東:96.1% 西:89.4% ▲4.9%	・木くずの資源循環 ・廃棄物の分別教育継続実施(HASEKOバリューアップ活動・協力会社組織にて) ・BIMによる生産システムにより資材ロス削減を継続実施 ・建設廃棄物削減・資源再利用に向けた研究・技術開発:2件継続中	☆☆	長谷エグループ	
				・イベント4件以上、参加者数延べ250名以上	4件 266名	・「長谷エの森林(もり)」森林整備活動を、長野県茅野市・和歌山県田辺市にて開催 *田辺市の活動では、8年間で計11,130本の植樹を実施 ・生物多様性保全活動を実施 ー東京グリーンシッパ・アクション清瀬松山緑地保全活動への参加、藤前干潟クリーン大作戦へ参加、明日香村での生物多様性保全活動の開催	☆☆	長谷エグループ	
				・自然共生サイト認定継続 ・外部表彰受賞件数(ABINC認定含む)	継続 16件	・TNFDに基づく情報開示を実施 ・長谷エテクニカルセンター「OECM」登録「自然共生サイト」認定 ・ABINC認証:9件取得/環境関連表彰:7件受賞【長谷エコーポレーション設計・施工】 ーABINC認証:「総合地所他)ルネ成田サングランデ」「中央日本土地建物他)ハウス所沢小手指タワー」 「大和ハウス)つくば学園南2丁目計画」「中電不動産他)(仮称)メイキタPROJECT」 「若松二丁目住宅マンション建替組合他)(仮称)若松二丁目住宅マンション建替計画」 「野村不動産他)(仮称)船橋市山手1丁目計画」「東急不動産他)プランズシティ船橋ピアレ」 「日鉄興和不動産他)(仮称)目黒3丁目計画」「阪急阪神不動産他)ジオ武蔵小金井」 ーウッドデザイン賞:「長谷エコーポレーション)プランシエスタ目黒中央」 ー品川区みどりの顕彰制度<緑化賞>:「三井不動産レジデンシャル)パークアクシス品川南大井パークフロント」 ーおおさか優良緑化賞<奨励賞>:「野村不動産他)プラウド吹田」「JR西日本プロパティーズ他)プレディア平野ザ・レジデンス」 ーなごやグッドグリーン賞<部門賞>:「大和ハウス他)プレミスト藤ヶ丘」 <入賞>:「総合地所他)MID WARD CITY」「総合地所他)NAGOYA the TOWER」 ・長谷エコーポレーション 設計案件において緑化によるCO2削減量の算定を継続実施	☆☆	長谷エグループ	
				① 環境法規制等の遵守	・土壌、水質、粉塵等に関連する法令違反ゼロ	0件	・有害物質・残存物の有無について事前調査を実施 ・購入した土地における土壌調査および必要の際は土壌改良作業を実施	☆☆	長谷エグループ
				② 建設現場近隣住民への配慮	・バリューアップ活動にて啓蒙実施	実施	・騒音、振動、粉塵、排ガス等についての対策を継続実施 ・HASEKOバリューアップ活動CSR部会にて各種活動を啓蒙 ー建設現場の仮囲いにデジタルサイネージの設置を実施	☆☆	長谷エグループ
<b>汚染予防・周辺環境配慮</b>	20 全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している	① 環境法規制等の遵守 ② 建設現場近隣住民への配慮	・土壌、水質、粉塵等に関連する法令違反ゼロ	0件	・有害物質・残存物の有無について事前調査を実施 ・購入した土地における土壌調査および必要の際は土壌改良作業を実施	☆☆	長谷エグループ		
			・バリューアップ活動にて啓蒙実施	実施	・騒音、振動、粉塵、排ガス等についての対策を継続実施 ・HASEKOバリューアップ活動CSR部会にて各種活動を啓蒙 ー建設現場の仮囲いにデジタルサイネージの設置を実施	☆☆	長谷エグループ		

# 2025年度 長谷エグループサステナビリティ行動計画

		★:中期経営計画「HASEKO Evolution Plan」におけるKPIです			※社名表記のないものは[長谷エコーポレーション]の取り組みを指します				
4つの 取り組みテーマ	マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2025年度 長谷エグループの取り組み項目	指標(KPI)/目標数値	実績	2025年度の主な取り組み(ハイライト)	自己評価	対象範囲	
<b>信頼される 組織風土</b>  ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきます。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していきます。	<b>人権の尊重</b>	21	人権尊重のための仕組みを確立し、実践している	① 人権デュー・ディリジェンスの実施	★人権デュー・ディリジェンスの実施 ・eラーニング受講率100%	98.5%	・「長谷エグループ人権方針」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを推進 ・協力会社に向けて各種アンケート調査を実施 ー長谷エグループ サステナブル調達ガイドライン遵守状況に関するアンケート(外国人技能実習生に関する設問含む)を実施 [建栄会:長谷エコーポレーション][建翔会:不二建][住優会:長谷エリフォーム][輝翔会:長谷エコミュニティ][親和会:細田工務店]:922社が回答 ・リスク予防活動の中で、グループ各社各部署にて人権リスクの洗い出しを実施 ・人権ハンドブックを制作し、グループ全社員に配布、周知啓蒙を実施 ・Myじんけん宣言の表明	☆	長谷エグループ
			② ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化	・ハラスメント研修受講率100%	100%	・「長谷エグループ人権方針」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを推進 ・全役職員を対象にハラスメント防止の内容を含むeラーニング教育を実施 ・コンプライアンス通信・朝のコンプライアンス活動・長谷エグループコンプライアンスブックによる周知啓蒙を実施 ・「カスタマーハラスメントに対する基本方針」を策定[長谷エコミュニティ・長谷エリアルエステート・長谷エアーベスト]	☆☆	長谷エグループ	
	<b>サブライチエーン・ マネジメント</b>	22	サステナブル調達を実現している	① サステナブル調達ガイドラインのサブライチエーンへの周知徹底	★サステナブル調達アンケート回答率(建設関連協力的会社組織)100%(毎年度) ★外国人労働者とのエンゲージメント実施率(対象協力的会社ベース)100%(毎年度)	99.2%	・協力会社に向けて各種アンケート調査を実施 ー長谷エグループ サステナブル調達ガイドライン遵守状況に関するアンケートを実施 [建栄会:長谷エコーポレーション][建翔会:不二建][住優会:長谷エリフォーム][輝翔会:長谷エコミュニティ][親和会:細田工務店]:922社が回答 ・「長谷エグループサステナブル調達ガイドライン」社内外への周知徹底継続 ・調達ガイドライン遵守条項について各種契約への条項化を推進、監査部と連携 ・協力会社組織「建栄会」所属企業の外国人従業員を対象とした「外国人労働者座談会(グローバルワーカーズ・ミーティング)」を2現場で開催	☆	長谷エグループ
				② ガバナンス体制の強化	・取締役のうち社外取締役の占める割合1/3以上 ・取締役会実効性評価の実施	41.7%[5名/12名](25/6未時点)実施	・取締役会の実効性評価アンケートを実施 ・取締役会の諮問機関として、指名報酬委員会を設置・開催 ・代表取締役と監査役間の意見交換会を実施	☆☆	長谷エグループ
	<b>ガバナンス・ リスクマネジメント</b>	23	品格のある会社として企業倫理・法令遵守が徹底されている	② コンプライアンスの徹底	・コンプライアンスに関する講演会受講率 ・コンプライアンス対策委員会開催 ・eラーニング受講率100%	100% 年16回開催 100%	・講演会については、eラーニングシステムを利用した動画配信形式で実施(2回実施) ①独占禁止法コンプライアンス(談合・カルテル)②不正・不祥事を起こさないために ・コンプライアンス研修を実施 ①新入社員研修(動画)②東西財務部門5年次(対面)③関西営業部門4年次(対面) ・契約・派遣社員を含めた全役職員を対象に以下項目を実施 ①コンプライアンスに関するeラーニング教育3回実施 ②長谷エグループ「コンプライアンスブック」のアプリ配信・冊子配布 ③「コンプライアンスガイドライン(公正で誠実な事業活動を行う為の基本的な遵守事項)」の同意取得。 ・内部通報相談件数40件	☆☆	長谷エグループ
				③ 環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化	・リスク統括委員会開催(年4回) ・BCP継続運用(震災対応・感染症対策含む) ・内部監査カバー率100%	年4回開催 継続運用 100%	・「リスク予防活動」の推進 ーリスク管理責任体制に基づき、リスクの洗い出しからリスクの評価、リスク対応計画の策定、リスク軽減策の実施、内部監査、報告までの一環した活動を実施 ・2025年度震災対策BCP訓練の実施:年1回実施 ーグループ社員:社員・家族の安否確認、グループ関係物件の被災状況確認 ークライアント・協力会社:事業主、賃貸物件オーナー・マンション管理組合理事長を含めた安否・被災状況報告	☆☆	長谷エグループ
	<b>情報開示と エンゲージメント</b>	24	一人ひとりの社員の所属や階層に必要なサステナビリティ教育が実施され、サステナビリティ経営がなされている	① 計画的なサステナビリティ教育の実施などによる社内浸透施策や理解度調査の実施	・サステナビリティ講演会開催(年1回) ・eラーニング受講率100%	未開催 98.5%	・契約・派遣社員を含めた従業員を対象にサステナビリティeラーニングを年2回実施 (第1回テーマ:長谷エグループにおけるサステナビリティ推進の基本的な考え方・中期経営計画におけるサステナビリティの位置づけ) (第2回テーマ:サステナビリティ取り組みの具体事例)	☆	長谷エグループ
				① ステークホルダーエンゲージメント	・機関投資家・アナリスト・メディア・エンドユーザー等とのコミュニケーション活動	計299社と面談を実施	・決算説明会(年2回実施)、決算後のネットカンファレンス(年4回実施) ・決算後にIRミーティング・ESG面談を実施 ・マンション市場説明会(アナリスト・メディア等対象)を年2回開催 ・各種見学会(アナリスト対象)を開催 ーマンション事業主向けプレゼンテーション拠点(LIPS)の見学会(1回)、長谷エマンションミュージアム見学会(1回)	☆☆	長谷エグループ
		25	多様なステークホルダーから得た情報を活かし、サステナビリティ経営を実現している	① ステークホルダーの課題認識や期待に応える情報開示の促進	・Webサイトの適宜更新 ・統合報告書の発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上	適宜更新実施 長谷エグループ統合報告書2025を発行 CDP:気候変動スコアA SEA総合スコアAを獲得 GPIFが採用するESG指数5銘柄に選定継続	・GPIF採用6指数のうち5指数に選定 (「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」) ・統合報告書、Webサイト等での開示実施 ・各種調査・アンケート等対応実施 ーESG評価機関(FTSE・MSCI等)、東洋経済CSR調査、日経スマートワーク・SDGs経営調査 ・暮らしに役立つ情報とサービスを提供する公式サイト「ブランシエクラブ」および ・オウンドメディア「マンションプラス」にて、マンションにまつわる情報を定期的に発信	☆☆☆	長谷エグループ
				① ステークホルダーの課題認識や期待に応える情報開示の促進	・Webサイトの適宜更新 ・統合報告書の発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上	適宜更新実施 長谷エグループ統合報告書2025を発行 CDP:気候変動スコアA SEA総合スコアAを獲得 GPIFが採用するESG指数5銘柄に選定継続	・GPIF採用6指数のうち5指数に選定 (「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」) ・統合報告書、Webサイト等での開示実施 ・各種調査・アンケート等対応実施 ーESG評価機関(FTSE・MSCI等)、東洋経済CSR調査、日経スマートワーク・SDGs経営調査 ・暮らしに役立つ情報とサービスを提供する公式サイト「ブランシエクラブ」および ・オウンドメディア「マンションプラス」にて、マンションにまつわる情報を定期的に発信	☆☆☆	長谷エグループ